



平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域)教育現場でのマネジメント

2018. 7・21(土) 神戸商科キャンパス

担当講師 経済学部教授 石田 潤 経営学部教授 加納 郁也

看護学部教授 池田 雅則

—神戸商科キャンパスでは平成21年度より毎年教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】生徒のやる気を高めるにはどうすればよいか、効果的な授業方法とはどのようなものなのか、教育目標の実現に向けて教育課程をいかに実践・運営していけばよいか、などについて“マネジメント”の観点から論じる

【時間割】第1講 やる気のマネジメント(経営学部教授 加納 郁也)
第2講 授業方法のマネジメント(経済学部教授 石田 潤)
第3講 カリキュラムのマネジメント(看護学部教授 池田 雅則)

【受講者の声】

①受講してよかったこと

- ・ 普段の授業に即した内容であり非常に興味深かった
- ・ どの講義もわかりやすく、丁寧に教えていただいたので、とても勉強になり学校生活にも活かしてゆきたいと思った
- ・ 経済学と心理学の接近に大変興味が湧いた
- ・ 食堂が開いていてよかった



②さらに詳しく知りたいこと

- ・ 授業方法の具体的な実践例
- ・ 子どものやる気に関する理論についても知りたい
- ・ 横断的カリキュラムの実践例について
- ・ 具体的な成功例、失敗例
- ・ 実際の企業でおこなわれているモチベーション理論の応用について
- ・ 生徒の能力較差が大きい中、授業を計画する際主眼をどこに置くべきか

③講習に期待すること

- ・ 一日ではとても学びきれない量だった
- ・ 申込手順が各大学統一されると大変助かる
- ・ 理論だけでなく、ケーススタディも聞きたかった
- ・ もっと実例を紹介してほしい





平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域) 学校における防災教育の基礎

2018. 8. 3(金) 神戸防災キャンパス

担当講師 減災復興政策研究科 教授 富永良喜、准教授 阪本真由美、講師 宮本匠

—防災教育研究センターでは平成25年度より毎年教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】 児童・生徒に対する防災教育に関する基礎的知識の修得を目的とし、以下の内容について講義が行われました。

1. 防災教育の目指す教育目標等について説明する
2. 防災教育に求められる視点について説明する
3. 災害発生メカニズムの理論: 災害メカニズムの理論について、分かりやすく説明する
4. 防災・減災のための情報活用: 防災・減災のための情報の活用に関する実例を紹介する
5. 防災教育教材の体験: カードゲームなど、防災教育に役立つ教材について実際に体験する



- 【時間割】
- 第1講 防災教育の目指す教育目標について(阪本准教授)
 - 第2講 災害メカニズムと避難行動(阪本准教授)
 - 第3講 災害前後の心のケアと防災教育について(前半)(富永教授)
 - 第4講 災害前後の心のケアと防災教育について(後半)(富永教授)
 - 第5講 防災教育に求められる視点について(宮本講師)
 - 第6講 防災教育教材の体験(宮本講師)



【受講者の声】

① さらに詳しく知りたいこと

- ・南海トラフ地震の想定をした防災教育を現場でどのように取り入れたらよいか
- ・子どもたちと作ってゆく防災マップの活動・県内ハザードマップの詳細について
- ・学校現場で防災担当が担う役割について
- ・具体的な防災教育に使用できる教材等
- ・心のケアについて・県内各学校の取り組み・普段できる生活の工夫
- ・実践的な避難訓練について・震災避難時のエピソードやその後の過ごし方について



② 講習に期待すること

- ・人と防災未来センター西館(施設内)の見学や、体験したりする内容が入っているとよりよい
- ・未就学児に対するケアの仕方の参考例がほしい
- ・試験も含め 17:00 頃までに終了するスケジュールだとありがたい・休日に講習してほしい

③ 受講してよかったこと

- ・最近の防災教育について知ることができた・知らないことも多く勉強になった
- ・新しい発見につながった。もう一度災害について見直し、子どもたちにも伝えてゆきたい
- ・クロスロードで楽しく学べた・様々な人の意見が聞けた
- ・心のケア、支援の仕方等様々な観点から学ぶことができた
- ・災害前後の心のケアでは、様々な児童に対応したサポートを学ぶことができた
- ・改めて自分の住んでいる地域・働いている地域をふり返ってみようと思った





平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域) 学校における地域教育の基礎

2018. 8・3(金) 豊岡ジオ・コウノリキャンパス

担当講師 地域資源マネジメント研究科 教授 江崎保男 井口博夫 中井淳史 佐川志朗
山室敦嗣

地域資源マネジメント研究科 准教授 大迫義人 先山徹 内藤和明

地域資源マネジメント研究科 講師 松原典孝 菊池義浩

—豊岡ジオ・コウノリキャンパスでは平成 27 年度より毎年教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】 児童・生徒に対する地域教育に関する基礎的知識の修得を目的とし、以下の内容について講義する。

- 1 「地域資源」とは？：地域資源を生かした地域教育の目標、効果等について説明する。
- 2 地域資源の活用について(3つのプログラムに分かれる)
 - A: 地域の自然資源活用-ジオパーク
 - B: 地域の自然資源活用-地域生態系と野生復帰
 - C: 地域の社会・文化資源活用-歴史遺産
- 3 A、B、Cのプログラムごとに地域資源の活用についての実習・演習を行う。

【時間割】 第1講「地域資源とは」

第2講「地域資源の活用について」

第3講「実習・演習」

A: 地域の自然資源活用実習～ジオパーク～

B: 地域の自然資源活用実習～地域の生態系と野生復帰～

C: 地域の社会・文化資源活用実習講座～歴史学・社会学・地域計画学の視点から～

【受講者の声】

① さらに詳しく知りたいこと

- ・現代社会の利便性・生産性と資源活用のバランスをどうとらえてゆくの
がよいか。
- ・地域にある様々な事柄をどのように教材化していくことができるか。
- ・コウノリの繁殖のための取り組みと防災・農業の関係性をもっと知りたい。

② 講習に期待すること

- ・コウノリの観察を希望したい。
- ・パワーポイントの画像をテキスト配布してほしい。
- ・実施時期について。受付・終了が30分早ければありがたい。
- ・仮申込がクリックで済んだり、募集人数がわかったりするとありがたい。



③ 受講してよかったこと

- ・地磁気に関することや、日本列島の成立等々興味深かった。
- ・玄武洞を中心として様々な歴史を含めた昔の人々の生活の知恵に
たくさん触れることができた。
- ・水生生物採集ができて楽しかった。
- ・とても暑い中でしたが臨機応変に対応していただきありがたかった。





平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域)食の安全性を考える

2018. 8・9(木) 姫路環境人間キャンパス

担当講師 有満 秀幸准教授(環境人間学部)

伊藤 美紀子教授(環境人間学部)

木村 幸子准教授(環境人間学部)

—姫路環境人間キャンパスでは平成28年度より毎年教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】 食の安全性をテーマに、食中毒と有害物質、食物アレルギーについての講習を行いました。

有満は微生物による食中毒の要因と対策、木村は食品汚染物質（かび毒、残留農薬などの有害化学物質、調理加工食品中の有害成分など）について、伊藤は食物アレルギーについて最新の情報とともに概説しました。

【時 間 割】 第1講 微生物による食中毒を病原体の生態から考える（有満 秀幸准教授）

第2講 食品中の汚染物質と安全確保に向けた取り組み（木村 幸子准教授）

第3講 食物アレルギーの正しい理解～最新の話も含めて～（伊藤 美紀子教授）

【受講者の声】

① さらに詳しく知りたいこと

- ・食品添加物・身近な学校での食中毒の例
- ・有害物質について教育現場でいかにさせること
- ・現場の教師の本当に必要な安全確保に対する知識
- ・A型肝炎ウイルスについて
- ・給食現場での実際
- ・アレルギーの最新情報と対応
- ・基礎的なこと以外の応用的なもの

② 講習に期待すること

- ・専門用語が多かった・「食品中の汚染物質と安全確保に向けた取り組み」について資料があればよい
- ・必修、選択必修もあればよい・試験について最初に説明があるとよい
- ・さらに多くの講習が開設されるとよい・受入人数を増やしてほしい

③ 受講してよかったこと

- ・駐車場、受付場所、校内地図や表示がわかりやすかった
- ・受講しやすい講習ではなく、受講したい講習を受講できた
- ・食堂を利用できた





平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域)科学の最前線2018

2018. 8・17(金) 播磨理学キャンパス

担当講師 竈島 靖(大学院物質理学研究科教授)

宮澤 淳夫(大学院生命理学研究科教授)

—播磨理学キャンパスでは平成21年度より毎年教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】 兵庫県播磨科学公園都市にある大型放射光施設 SPring-8 では世界最高性能の放射光 X 線が得られる。SPring-8 を用いた X 線顕微イメージングを解説する。(竈島教授)

試料を急速凍結し、凍結状態のまま極低温で観察する研究手法としてクライオ電子顕微鏡法がある。生命科学において、生きた状態に非常に近い生体分子の構造と性能を解析することが可能となった。(宮澤教授)

【時間割】 第1講 クライオ電子顕微鏡法による生体分子構造の解析(生命理学研究科教授 宮澤 淳夫)
第2講 SPring-8 放射光で観るミクロの世界(1)(物質理学研究科教授 竈島 靖)
第3講 SPring-8 放射光で観るミクロの世界(2)(物質理学研究科教授 竈島 靖)

【受講者の声】

① さらに詳しく知りたいこと

- ・身近にある具体例があればもっと詳しく知りたい。
- ・教育活動に活かしやすいように中・高段階で身につけておくべき考え方や技術をアドバイスしてほしい。
- ・電子線結晶解析や X 線顕微 CT などが活用されている具体例をより多く教えてほしい。
- ・SPring-8 はほかにどんな研究を行っているか。



② 講習に期待すること

- ・施設(SPring-8 等)の見学も受講内容に入っているとよい。
- ・研究された学問・技術が現在の世の中にどう活かされているかをもっと知りたい。
- ・姫路でも開催してほしい。



③ 受講してよかったこと

- ・X 線イメージングの応用例等とても面白い研究が多かった。



平成30年度 兵庫県立大学教員免許状更新講習

(選択領域) データを活用した地域学習入門

2018. 8・20(月) 姫路環境人間キャンパス

担当講師 太田 尚孝(姫路環境人間学部准教授)

—姫路環境人間キャンパスでは平成30年度より教員免許状更新講習を開講しています—

【講義概要】 本講習では、統計データのグラフ表現手法の考え方や各グラフの長短を最初に講義形式で理解をします。次いで、地域創生の政策立案や、学校教育でも利用されている「地域経済分析システム(RESAS:リソース)」を中心に、客観的データの使い方を演習形式で学びます。また、実際に短時間のグループワークを行い、データを活用した教材づくりのあり方を考えます。なお、本講習は、初級者向けに演習レベルを設定しています。

【時間割】 第1講 講義:データを活用した地域学習とは
第2講 演習:RESASを使ってみよう!
第3講 グループワーク:データを活用した地域課題の理解と解決策の提案①
第4講 グループワーク:データを活用した地域課題の理解と解決策の提案②
第5講 議論:一日の振り返りとより良い地域学習のあり方とは

【受講者の声】

① さらに詳しく知りたいこと

- ・マーケティングの留意点について。利用できるデータ、できないデータを知りたい。(著作権に関わること)
- ・RESASの活用に関して未来予測のデータの要素の設定方法。高等学校など校種でどのような活用事例があるか知りたい。GISについて詳しく知りたい。



② 講習に期待すること

- ・会場の場所がわかりづらい。
- ・会場から別の会場への移動はない方がありがたい。



③ 受講してよかったこと

- ・GISの活用ができるように勉強しようと思うきっかけになった。
- ・RESASも教材研究で活用していこうと思う。
- ・RESASをはじめて使いましたが、とても分かりやすかった。
- ・グループワーク等も楽しく行うことができました。
- ・教育現場で何らかの形でいかしたい。
- ・どのように教育現場に取り入れていくのかを考えてゆきたい。
- ・新しい発見もあり、勉強になった。・授業でも活用したい。

